

## || 伊藤節氏、志信氏 イタリアデザインの最高峰賞受賞

2011年7月12日、今年50周年になるイタリアデザインの最高峰賞、Premio Compasso d' Oro ADI (プレミオ・コンパッソ・ドーロADI) 第22回の発表がローマMACRO博物館PelandaTestaccio会場にて行われ、ミラノ在住のデザイナー、伊藤節氏、伊藤志信氏がPremio Compasso d' Oro (プレミオ・コンパッソ・ドーロ賞) 及びMenzione d' Onore (メンツィオーネ・ドノーレ賞) に輝いた。

栄えあるプレミオ・コンパッソ・ドーロ賞は、DOMOプロジェクト(サルディニアビエンナーレ)における伝統工芸匠との新しい可能性についてのデザイン研究開発(作品名「bird, terra, cuore」)に対して贈られた。

また、メンツィオーネ・ドノーレ賞はIl Cantiere(イル・カンティエレ社・伊)との新素材・超高性能ファイバーコンクリートによる研究と、この素材を利用したデザイン作品であるモジュールシステムファニ

チャー「BOTAMP」に対して贈られた。

伊藤節氏、伊藤志信氏は2011年9月21日～24日にイタリア・ヴェローナで行われた大理石とデザインの世界最大の国際フェア、MARMOMACC(マルモマック2011)において建築空間の発表もしており、有機モジュールで機能性と装飾性を融合させる新しい石の使い方を提案、自然に肌で触れながら溶け込んでいきたくなるような建築空間を表現し評判を呼んでいる。(Tamaki Ogiso)



プレミオ・コンパッソ・ドーロ賞を受賞した「DOMOプロジェクトにおける伝統工芸匠との新しい可能性についてのデザイン研究開発」。



「超高性能ファイバーコンクリートによる研究と、この素材を利用した作品モジュールシステムファニチャー「BOTAMP」」がメンツィオーネ・ドノーレ賞を受賞。